

市町村名 **中城村**

**沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【中期的検証事業】**

<b>事業名</b>	7-① 中城村護佐丸歴史資料図書館整備事業			<b>沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所</b>	第3章-1-(4)-ア 文化活動を支える基盤の形成
<b>担当部課名</b>	教育委員会	生涯学習課	<b>事業実施年度</b>	平成24 ~ 令和5年度	<b>沖縄振興基本方針該当箇所</b> Ⅲ-3-(2)

**事業内容**  
 沖縄や中城村の歴史、文化、世界遺産等について村民が学べる場所であり、それらを村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、また、災害時の安全を確保するため防災機能(タワー)も兼ねた複合施設として、中城村護佐丸歴史資料図書館の整備を行う。

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他( )

事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
	<b>実績報告上の総事業費(最終)</b>		116,741	88,888	1,054,226	497,243
<b>A. 予算現額</b>		115,506	88,812	1,054,226	497,243	<b>1,755,787</b>
<b>B. 執行済額</b>		115,506	88,812	734,001	497,243	<b>1,435,562</b>
<b>うち 交付金充当額</b>		92,404	71,049	587,201	397,794	<b>1,148,448</b>
<b>執行率(%) (B/A)</b>		100.0%	100.0%	69.6%	100.0%	<b>81.8%</b>
<b>執行状況の説明</b>	入札の結果、入札残による減額が生じたが予算は目的どおり適切に執行できた。					

事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
(仮称)護佐丸歴史資料図書館の建設工事の実施	<b>目標</b>	基本構想・基本設計の作成、建設用地の購入	実施設計の実施	磁気探査調査、施工監理、杭打工事、建築工事、機械設備工事、電気設備工事の実施	施工監理、建築工事、機械設備工事、電気設備工事、展示工事等の実施	
	<b>実績</b>	基本構想・基本設計の作成、建設用地の購入	実施設計の実施	磁気探査調査、施工監理、杭打工事、建築工事、機械設備工事、電気設備工事の実施	施工監理、建築工事、機械設備工事、外構工事、展示工事等の実施	

事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
観光拠点整備に向けた整備の完了	<b>目標</b>	基本構想・基本設計の作成、建設用地の購入	実施設計の完了	磁気探査調査、施工監理、杭打工事、建築工事、機械設備工事、電気設備工事の完了	施工監理、建築工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事、展示工事等の完了	
	<b>実績</b>	基本構想・基本設計の作成、建設用地の購入	実施設計の完了	磁気探査調査、施工監理、杭打工事、建築工事、機械設備工事、電気設備工事の完了	施工監理、建築工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事、展示工事等の完了	

事業完了後の取り組み					
成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標/発現年度
<input checked="" type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	-	-	-	91300人
年間利用者数	実績	88,549人	47,773	48,719	64,389
事業完了後の成果目標 状況説明	【R1年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力を掘り起こすようなイベントの開催をすることができた。</li> <li>利用者数は、前年度に比べ、順調に伸びている。</li> <li>各小学校での「ごさまる科」における活用も浸透してきた。</li> </ul>			
	【R2年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で長期の休館等を余儀なくされ、予定していたイベントの中止や企画展の中断など、思っていた活動ができず、利用者数が減少した。</li> </ul>			
	【R3年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響が続き、臨時休館の日数が増え、イベントの中止、企画展の中断や延期など、運営に苦慮した。</li> <li>制限のある中でも、感染対策を行い、サービスの提供に努めた。資料図書室の利用者数・貸出冊数は、年度後半の開館再開後は前年度より増加。</li> </ul>			
	【R4年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響は残るものの、感染対策に留意しながらイベントや企画展を開催した。</li> <li>臨時休館等もなく、徐々に来館者数は戻りつつあるが、コロナ前の水準までの回復には至っていない。</li> </ul>			
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)		
【R1年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>村内小学校における「ごさまる科」授業での活用や、各種団体等の見学受入が定着してきている。また、伝統芸能イベントの定例化や、村の特産品である島ニンジンの日イベントを当館で開催するなど、地域の文化・情報発信の場、防災施設(R1年度は村内自治会の自主防災組織対象の図上訓練及び台風時の避難所を設置)として活用されるようになってきた。</li> </ul>		【R1年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して沖縄や村の歴史文化を紹介する企画展示(R元年度は組踊初演350周年にちなんだ企画展・講演会や村の字展(地域展)の開催等)・イベント等を行うとともに、琉球大学附属図書館・博物館学外展や、防災関連の訓練等のように、他機関との連携を通して、より地域の魅力を発信する場、地域に密着した施設となるよう取り組みを行う。</li> </ul>	
【R2年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響で厳しい状況の中、感染対策を行って地域の人物や団体に焦点をあてた企画展を開催。密集を避ける工夫をしながら、村内小学校のごさまる科や団体の案内を行った。また、閉館中、入口に臨時カウンターを設置し、予約や取り置きの本の貸出を行った。</li> </ul>		【R2年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中で、感染対策に工夫をしながら、企画展や開催可能なイベントを検討・実施していく。また、利用者への資料の貸出を継続する工夫を重ねていく。</li> </ul>	
【R3年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨時休館が前年度より増え、運営に苦慮したが、感染対策を行い、休館中の臨時カウンターや郵送での貸出サービスの提供、貸出可能冊数増など、利用者サービスに努めた。また、はじめてオンライン配信併用のイベントを開催するなど、コロナ下における新たな取り組みを行った。</li> </ul>		【R3年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の歴史に焦点をあてる企画に継続して取り組んだ。(戦後引揚展)その関連で、県外の博物館との合同企画展やシンポジウムが実現するなど、新たな取り組みにつながった。</li> <li>村内小学校における「ごさまる科」への協力を継続。より活用してもらえるよう連携を深める。</li> <li>貸出可能冊数を増やし、利用者のニーズに応えるよう努めた。通常サービスとしての継続も含め検討する。</li> </ul>	
【R4年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染対策に留意し、貸出冊数の増加などを引き続き継続し、利用者サービスに努めた。他機関と連携しながら、企画展やイベントを開催したり、館外(屋外)での活動イベントを実施するなど、新たな取り組みを行った。</li> </ul>		【R4年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>他機関などの外部との連携を今後も積極的に行い、地域に根差したテーマを中心として、広く利用者の関心を引くような企画やイベントを継続して実施する。</li> </ul>	

### 今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

#### 【R1年度】

・継続して村内外の組織機関や地域との連携を通し、地域に密着した活用とニーズの把握に努めるとともに、講演会や企画展、イベントによる地域の魅力の情報発信を継続して行う。

#### 【R2年度】

・コロナ対策を継続し、感染状況を注視しながら運営を行うとともに、村内小中学校や村機関を中心に、情報交換を積極的に行う中で、資料図書館へのニーズをくみ取りながら、地域の魅力を発信を継続する工夫を行う。

#### 【R3年度】

・コロナ対策を継続し、感染対策や形式に工夫をしながら、イベントや企画などの開催に努めるとともに、引き続きごさまる科をはじめとした学校等との連携をすすめる。

・地域の歴史文化に焦点をあてた企画展の反響を多く感じる。今後も地域をテーマにした企画に取り組む。

#### 【R4年度】

・コロナの動向や関連情報に注意しながら、円滑な運営を行う。外部機関や組織との連携を積極的に行うとともに、利用者ニーズの把握に努め、さまざまな分野の企画展やイベントを開催する。

・継続してごさまる科などの学校等との連携、地域の歴史文化をテーマにした企画展等に取り組んでいく。